



大地申第1号

「JR東労組大宮地本第22回定期大会」の発言に基づく申し入れ 組合員から出された声を基に団体交渉行う!!

1. 「大宮支社年次計画2021」や黒字化達成に向けて労使で真摯に向き合い、会社発展と労働条件の維持向上に寄与してきたところである。しかし、職場において組合員に対し不利益と差別的な発言により、不安や不満の声が出ている。不誠実な会社姿勢を是正し「労使間の取扱いに関する協約」にある通り、団体交渉等において信義誠実の原則に則り真摯に議論すると共に労働協約を遵守すること。

組：不当労働行為はあってはならないと労使で議論し、真摯に向き合い2度と起こさないことを確認してきた。しかし、会社から申し入れが出され「事実と異なる内容の喧伝」や「誠に遺憾である」と書かれてある。疑念は払拭できたのか。

会：払拭している。

組：合意したにもかかわらず「不当労働行為撲滅宣言」を複数回覆された。真摯に対応していると言えるのか。

会：会社として信義誠実に対応しているが、迷惑をかけてしまった。

組：「現業機関における柔軟な働き方」は現在労使議論中であるが、エリアマネジメントオフィスやインターンなど、柔軟な働き方に向けてすでに動いている疑念がある。

会：問題意識は持っている。調べて返していく。

労働協約違反の可能性があることを指摘して継続議論とする!!

2. 「エルダー社員の会社における業務範囲拡大と労働条件の一部変更について」に関する労使議論の経過とは異なり、エルダーとなる組合員の納得感が得られず「聞いている話と違う」「モチベーションが維持できない」などの声があることから、管理者や支社は本人との相互理解を深める丁寧な面談を行うこと。

組：コミュニケーションをとることは重要。社員と出向先のマッチングで苦勞していることを伝えることも本人が考える材料となりうる。

会：第一希望がかなわない理由を示すなど、マッチングさせるために工夫していく。

組：出向先の提示がギリギリになっている事が多い。提示の仕方に余裕がない。改善出来ないか。

会：少しでも本人とのマッチングに合わせるために遅れてしまう。問題意識はある。

まとめ

覚書に則り、丁寧なコミュニケーションと説明を行っていくことを確認する!!